



陽光

令和6年11月18日 第16号 文責 梶原 圭一



平和な世界の担い手となるために

11月8日(金)から11月9日(土)の2日間、6年生が長崎・福岡方面へ修学旅行に出かけました。この修学旅行の大きな目的は、講話やフィールドワークなどの現地での学習を通して、平和への理解を深めることにありました。事前学習として、菊池飛行場ミュージアム館長を講師としてお招きし、平和についての講話を行っていただくなど、一人一人が目的意識をもって現地での学習に臨みました。出発するにあたり、友達や周囲の人たちの気持ちをしっかり考え、感謝の気持ちをもって行動することを話しました。また、あいさつや話を聞く態度など、先輩たちが大切にしてきた中部小の伝統を受け継いだ言動に心がけてほしいと伝えました。

平和公園での行った平和集会では、周囲に多くの人たちから見られている中で、真剣に、そして堂々と自分たちの平和に対する思いを発表する子どもたちの姿に感動しました。原爆遺構をめぐるフィールドワークでは、活動班ごとに説明いただいたガイドの方の指示や話をしっかりと聞きながら学ぶ姿が印象に残りました。活動後にガイドの方々や平和講話をしていただいた方にお礼を伝えた際に、子どもたちの学びに向かう姿をたくさん褒めていただきました。宿泊先では、担任の先生方から時と場に合った行動を考えるよう話がありましたが、時間を考えたメリハリのある様子が見られました。修学旅行に添乗された方々や施設の方から、「素晴らしい6年生ですね」との声をいただくほどでした。太宰府でも、一人一人が友達のことを考えて行動している姿が至る所で見られ、大変うれしくなりました。さらに、ルールを守って行動する大切さについても学んでくれたようでした。

6年生一人一人にとって、様々な学びのある修学旅行になったようです。ここで得た経験を、これからの学校生活やなかまづくりになかまづくりに生かしていってくれることを期待しています。そして、これからは生きる子どもたちが、平和な世界の担い手として、正しく判断し、行動できる大人へと成長してほしいと強く願っています。



自分と重ねながら考える人権学習

11月6日(水)に、菊陽町の小中学校の先生方に本校の人権学習を公開しました。本校では、地域に誇りを持ち、部落差別をはじめあらゆる差別を見抜き、許さず、差別に立ち向かう子どもたちを育てる子どもの育成を目指し、人権教育を根幹に据えた教育活動を進めています。町内の先生方は、3つの学級の人権学習を参観され、本校の人権教育の進め方について、様々な視点からご意見をいただきました。

教材の中の不合理な出来事に対する怒りを共有するとともに、自分自身の見方・考え方、くらし等と重ねて考え、自分のよさや親への思いを綴り、語る活動を大切に授業を進めていきました。どの学年の子どもたちも、自分をしっかり見つめ、思いを綴る姿が見られました。人権学習を通して感じた思いを、自らの生活の中、そしていじめや差別を許さず、立ち向かう生き方やなかまづくりにつなげていけるよう、今後も実践を積み重ねていきます。



<今後の主な予定>

12月 3日(火)～4日(水) 熊本県・菊陽町学力・学習状況調査

12月13日(金) オープンスクール(家庭教育学級)

12月24日(火) 後期前半終了日